

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン(案)【概要版】

連携中枢都市圏構想の目的

人口減少・少子高齢化社会にあっても、地域経済を持続可能なものとし、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、各種の取組を行うことにより、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とする。

本ビジョン策定の趣旨

福井市を圏域の中心市として地域の一体的かつ持続的な発展を図るため、福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市の7市と、永平寺町、池田町、南越前町、越前町の4町で構成する連携中枢都市圏の形成に取り組むこととした。

そこで、7市4町の多様な資源、産業、人材の活用や、人口定住のために必要な高次の都市機能の集積に向けた環境整備、また住民の生活関連機能サービスの維持・向上を目指す有機的な連携等について方向性を示し、今後の具体的な取組を推進するため、本ビジョンを策定する。

連携中枢都市圏を構成する市町

都市圏の名称：ふくい嶺北連携中枢都市圏

構成市町：7市4町（福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町）



取組期間

平成 31 年度（2019 年度）から平成 35 年度（2023 年度）の 5 年間

ふくい嶺北都市圏の将来像

圏域の特徴

- 豊かな自然
- 世界をリードする産業集積
- 質の高い農林水産物
- 共働き世帯の多さ
- 子育て環境の充実

課題

- 少子高齢化
- 労働力人口の減少
- 農林水産業の担い手不足
- 広域交通ネットワーク

つながり 創造する 活力と魅力あふれる ふくい嶺北都市圏

- 各市町それぞれの地域資源にこれまでになかった新たな「つながり」を生み出すことで、圏域の強みを活かした新たな価値や魅力を創出
- 各々の市町が、それぞれの役割を果たすことで、人口減少・人口流出に歯止めをかけ、ふくい嶺北連携中枢都市圏を活力と魅力にあふれる経済・生活圏として形成

将来像の実現に向けた基本方針

戦略 圏域全体の経済成長のけん引

- 産学金官民一体となった経済成長の推進
- 新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- 戦略的な観光施策の推進

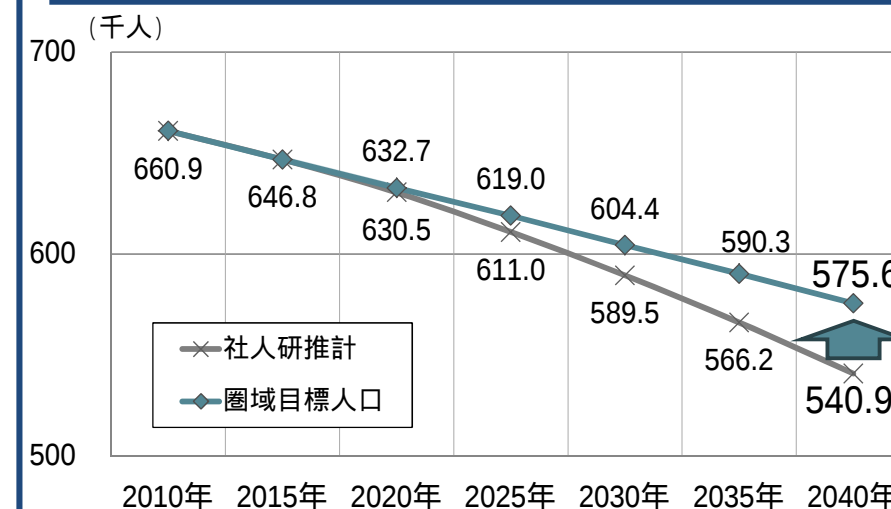
戦略 高次の都市機能の集積・強化

- 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- 高等教育・研究開発の環境整備

戦略 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
- 学校教育・社会教育の環境整備
- 文化振興
- 地域振興
- 災害対策
- 環境対策
- 地域公共交通の充実
- ICT・道路等社会インフラの整備
- 地域内外の住民との交流・移住促進
- ネットワークの強化・人材の育成

ふくい嶺北都市圏が目指す目標人口の将来像



・国の合計特殊出生率の目標（2030 年 1.80、2040 年 2.07）や、圏域内各市町の人口ビジョン・総合戦略を踏まえ、圏域が一体となった取組を推進することにより、2040 年時点で社人研推計よりも 3.5 万人多い 57.6 万人という水準（社人研推計値比プラス 6.4%）の人口規模を維持

主な取組(圏域全体の経済成長のけん引)

新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成

圏域の特性を活かした様々な分野での創業促進や異分野異業種交流、新事業・新製品開発のための支援など、戦略産業の育成に取り組む。

新事業創出支援



福井発！ビジネスプランコンテスト開催



地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

圏域内の特産物の販路開拓やPR促進、統一ブランドの開発など、地域経済の裾野の拡大に取り組む。

特産品販路開拓・拡大



農林水産物特産品販路拡大



戦略的な観光施策の推進

圏域内の観光資源の魅力向上や広域観光周遊ルートの形成、情報発信力の強化のほか、外国人観光客の受入体制の整備など、圏域全体への誘客拡大に取り組む。

広域観光周遊ルート形成



広域観光情報発信



その他の取組

- 商工業振興施策検討協議会運営
- 繊維産業販路拡大支援
- 事業承継セミナー開催
- 新製品開発支援
- 消費拡大促進
- 在来種そばPR
- 観光動態調査
- 観光案内所機能強化・情報発信
- 外国人旅行者向け情報発信
- 外国人観光客受入環境整備
- 教育旅行支援

成果指標

■ 新事業創出支援事業の支援件数（累計）	10 件
■ 農林水産物特産品販路拡大事業の参加事業者数	60 社
■ 観光客入込数（延べ人数）	2,913.6 万人
	他 1

主な取組(高次の都市機能の集積・強化)

高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

圏域全体に対する魅力的で質の高い都市的サービスの提供、圏域内外から通勤・通学・観光等で訪れる人々の利便性の向上など、高度な中心拠点の整備と広域的公共交通網の構築に取り組む。

公共交通ネットワーク構築



北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設整備



高等教育・研究開発の環境整備

地域社会の発展に貢献する人材を確保するため、圏域内の企業ニーズに応じた人材育成やその環境整備に取り組む。

企業若手人材育成支援



その他の取組

- 中心拠点賑わい創出
- 福井ふるさと広域景観形成
- 文化会館整備
- 防災センター展示・体験施設環境整備

成果指標

■ J R 福井駅の乗車人数	464.5 万人
■ 企業若手人材育成懇談会の参加者数	年間 60 人

主な取組(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

地域医療及び介護・福祉サービスの充実

広域連携による地域医療や成年後見支援体制、子育て環境の充実など、生活機能の強化に取り組む。

病児保育環境整備



保育所等広域入所



ICT・道路等社会インフラの整備

ICTの活用による利便性の向上、圏域内の交通等の円滑化を図るためのネットワークの整備、広域連携による公共施設のあり方研究など、圏域内の結びつきやネットワークの強化に取り組む。

広域航空写真地図データ整備



除雪力向上広域連携ネットワーク形成



地域内外の住民との交流・移住促進

圏域の魅力に関する情報の発信力を強化するなど、大都市圏からの移住定住の促進及び交流人口の拡大に取り組む。

移住促進・首都圏等情報発信強化



その他の取組

- 休日急患歯科診療
- 病院群輪番制病院運営
- 成年後見制度利用促進体制整備
- 学校教育担当者会議開催
- 地域の魅力ある文化資源活用
- 女性・若者等就職支援
- 企業誘致促進
- 防災担当職員人材育成
- 市民防災交流
- 上級救命講習共同開催
- ごみ処理施設相互応援
- 公共交通利用促進
- 広報ネットワーク強化
- など他13事業

成果指標

■ 病児保育事業の圏域内市町間契約数	38 件
■ ファシリティマネジメント研修会の開催回数（累計）	10 回
■ U・I ターン者数	725 人
	他 7